



# 学校だより

令和4年度小川中学校  
令和4年10月12日 発行

NO, 6 文責:小林 浩一

<第60回若鷹祭が感動と充実感とともに閉幕 10/8土>

～閉会式での生徒会長田邊凜子さんの挨拶より～



今ここに若鷹祭が終わろうとしています。今年も引き続き、新型コロナウイルスの影響で一昨年・昨年度と同じく、若鷹祭が1日開催となりました。感染予防対策も、マスクでの生活や人との距離を空けるなど、様々な制約が続いているそんな中、私たちは例年に負けない若鷹祭を創り上げようと、心を一つにして今日まで準備を進めてきました。

この第60回若鷹祭の背景には、様々なことがありました。そのスタートはテーマ決めからでした。「彩り～輝け！それぞれの個性（いろ）～」というテーマには、数え切れないほどの想いが込められています。それは、一人一人が自分らしさを輝かせ、若鷹祭を通して自信がもてるように。そして、皆の心がつながり合い、互い

**【生徒会長挨拶】** に心温まる時間を過ごし、感謝の気持ちが溢れ、彩り豊かな若鷹祭になるようにという想いです。何度も仲間と話し合い、アイデアを出し合い、出来上がったこのテーマは、今年の若鷹祭にとってふさわしいものとなりました。テーマに続き、代表ポスター決め、ステージバック・アーチ制作の準備などが次々と進められ、全校で協力して、一つの物を作り上げることはとても素晴らしいことだと感じました。

また、生徒会では各委員会がそれぞれの分担の仕事に対して、責任をもってやり遂げている姿がとても印象的でした。若鷹祭を自分たちで創り上げ、私たちらしい色で彩られていたと感じます。今日を迎えるまでの大変だった時間も、全員で一致団結し、一人一人が一生懸命活動している様子が、私はとても嬉しかったです。

そして今日、学年発表・部活動発表・学年展示では、それぞれ学びを深めて感じた想い、今までの努力の姿、仲間と協力し合い笑顔あるステージや、自分らしさを存分に発揮した展示物など、それぞれの個性、自分らしさ、学年らしさで溢れていました。合唱では仲間と共に一人一人の音色が重なり合い、素敵なハーモニーが響き渡りました。一人一人の色が合わさると、彩り豊かな時間が生まれるのだと改めて感じました。こうして、私たちらしい若鷹祭を、全員で創り上げ、やりきることができました。

若鷹祭は終わりますが、皆さんの個性が輝き、彩りに満ちたこの時間、そして、今日終えるまでに培った彩り豊かな時間は永遠に心に刻まれるでしょう。

最後になりますが、日々、私たちを導いてくださった先生方、私たちの心身を常に気にかけてくださった保護者の皆様、温かく見守ってくださった地域の方々、そしてこの若鷹祭運営に関わって下さった全ての方々に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。今ここに、若鷹祭の閉会を宣言します。

<若鷹祭閉祭式 校長挨拶より>

静寂に包まれた会場には、今、達成感と充実感といった感情があふれています。みなさん一人一人が自分の個性（いろ）を存分に発揮し、その色が体育館いっぱいに広がり、虹色のようなきれいな彩りを輝かせている。そのように私の目には見えてきます。

初めに、3年生の皆さん。間違いなくこの第60回若鷹祭をリードしてくれたのは、3年生のみなさんで

す。つながり、感謝、リーダーシップ、チームワーク、数々の言葉が3年生を見ていると浮かんできます。全校生徒一人一人がいかに自分の個性（いろ）を發揮できるか、そのためにはどうしたらよいかを真剣に考えてくれました。様々なことを考える中で、何をしてよいのか分からなかった日々。投げ出したくなった時。修学旅行があつて準備がなかなか進まなかったなど。それを乗り越えて、小川中学校の全校生徒をここまで引っ張ってくれました。3年生、ありがとう。たいへん立派でした。

3年生にお願いします。今後、この若鷹祭のまとめをどうしていくのか。何を2年生に引き継いでいくのか。ぜひ考えて欲しいと思います。生徒会のリーダーとして残された日はわずかですが、田邊会長を中心に最後に何を発信してくれるのか、楽しみにしています。

3年生の歌声、すばらしかったです。きれいなハーモニーと「感謝」の気持ちを込め歌う姿、感動しました。3年生の歌声を聞けるのはあと卒業式だけかと思うと、何かさみしいです。

次に1年生の皆さん。初めての中学校の若鷹祭はどうでしたか。開祭式も閉祭式も、ステージバックも、アーチも、全て中学生が計画して、中学生が創り上げていく。それが若鷹祭です。2年生、3年生の先輩方はすごいでしょ。この若鷹祭を経験して、1年生は本当の意味での中学生になりました。中学生のすごさを知ったと思います。

1年生の合唱、きれいなハーモニー、強弱をつけて自分たちの思いを伝えようとする姿がよかったです。また、テーマを持ち、登山を通して学んだ事や小川村のことを発表してくれましたね。これからの1年生の活躍が楽しみです。

2年生の皆さん。一年後には、間違いなく次の若鷹祭がやってきます。そしてその若鷹祭をリードしていくのは、2年生の皆さんです。今の3年生や去年の3年生から、たくさんのことを教わり、たくさんのことを感じたと思います。ぜひ、先輩方から学んだことを生かし、新たなことにチャレンジできるといいですね。2年生の合唱。昨年度より声量もあり、迫力を増していますね。そして、歌詞にのせて自分たちの思いを伝えようとする姿、よかったです。また、職場体験学習から学んだことを堂々と発表する姿に、2年生の確かな成長を感じました。

「彩（いろどり）～輝け！それぞれの個性（いろ）」第60回若鷹祭テーマのもと始まった文化祭も、間もなく終わりの時を迎えます。皆さん一人一人が自分の個性（いろ）を發揮できる裏に、実は、互いを認め合うことが必要です。若鷹祭の準備期間も含め、互いを認め合う中で、安心して、自分を表現できる環境が作り上げられてきました。そんな場面が多く見られました。

本年度、本校の学校教育目標は「多様性を認める心を育む小川中」です。この学校教育目標に近づけた若鷹祭でありました。私は、生徒の皆さんを大きく成長させてくれたこの若鷹祭に、今、感謝の気持ちでいっぱいです。

さて、最後になりましたが、若鷹祭の準備の段階から支援し励ましてくださった保護者の皆様、応援してくださった地域の皆様、そして早朝より終日、生徒たちを温かく見守ってくださいました来賓の皆様、全ての皆様に感謝と御礼を申し上げ、挨拶と致します。本当にありがとうございました。

### ～若鷹祭の様子から～



作文発表



1学年 総合的な学習発表



2学年 総合的な学習発表



3学年 総合的な学習発表



女子バレー部発表



男子バレー部発表



水泳部発表



体操



文化部発表



吹奏楽部発表



音楽会全校合唱



1年生合唱



2年生合唱



3年生合唱



小川小6年生合唱



閉祭式



全校集合写真①



全校集合写真②

## <第 60 回若鷹祭>

今年度は第 60 回という節目の記念すべき若鷹祭となりました。今年のテーマは「彩り～輝け！それぞれの個性（いろ）～」でした。このテーマとともに、生徒会では「自信と感謝をもてる生徒会」という年間を通してのテーマがあり、先生方にとっても「言葉の力を高める」というテーマがありました。生徒、職員がテーマの実現に向けて取り組んだ若鷹祭でもありました。

今年度の生徒会では、普段お世話になっている、保護者、地域の方々に感謝の気持ちを伝えたい、来校される方々に喜んでほしいということから、生徒一人一人がメッセージカードを書き、パンフレットに差し込んで配付しました。また、今までは見ていただくのみの若鷹祭でしたが、来校され方々からの感想を書いていただくメッセージボードを設置し、感想もいただくようにしました。さらに、写真スポットや展示見学時にスタンプラリーも設置しました。少しでも若鷹祭に楽しく参加してほしいという想いからです。そして、閉祭式の台詞の中に「仲間割れしちゃったけど、それによって、相手の意見や個性を大事にすることって大事なんだなって感じられた気がする」「謝ることと感謝する事って勇気がいるときがあるじゃん。でも、勇気を出して言えば未来は変わるってことなのかもね」とありました。お互いに認め合い、感謝しようとはよく言いますが、それは簡単な事じゃない。でも、勇気を出して一歩前に出たら未来は変わるという本部のみなさんからの強いメッセージだったと思いました。劇中の彩さん、橙亜さんたちのように力強く生きたいですね。



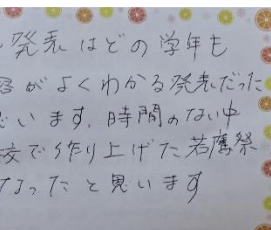
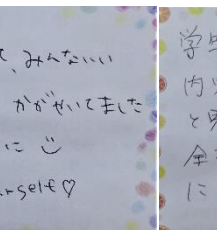
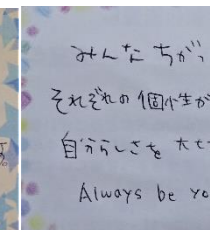
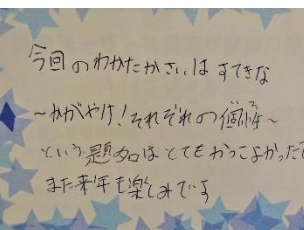
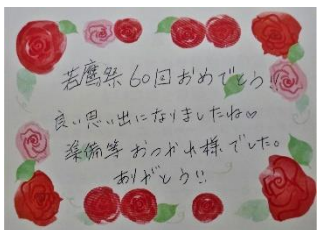
【写真スポット】



【スタンプラリー】



【メッセージボード】



メッセージボードへ多くの暖かい感想をいただきました。ご協力ありがとうございました。

若鷹祭風景



【若鷹祭くん】



【3・4 組合同展】



【若鷹祭 60年の歩み】



第60回若鷹祭



【1学年展示】



【2学年展示】



【3学年展示】

